

平成18年 7月  
交通エコロジー・モビリティ財団

## 環境的に持続可能な交通（E S T）の普及事業計画

### 1. 趣旨

OECDが「長期的な視野で環境面から持続可能な交通を踏まえて交通・環境政策を策定・実施する取組み」として提案したE S T（Environmentally Sustainable Transport）は、地球温暖化に対し強い危機感を抱いている欧州諸国で盛んに取り組まれている。

また、わが国でも、国土交通省が関係省庁と連携してE S Tの推進を目指す先導的な地域を集中的に支援するE S Tモデル事業を展開しており、現在までに21地域が選定されている。

このようなE S Tが地方自治体や交通事業者等に一層浸透することが望まれる。そこで、交通環境対策に取り組んできた当財団が、国土交通省等の取り組みを踏まえ、平成18年度からE S Tの普及推進に向けた活動を実施していく。

### 2. 実施内容

平成18年度は以下の啓発活動を実施する。

- ・ ホームページの開設
- ・ メールマガジンの発行
- ・ シンポジウムの開催
- ・ パンフレットの作成・配布 等

### 3. 推進体制

学識経験者、交通事業者の業界団体、E S T関係省庁等の方々からなるE S T普及推進委員会を当財団内に設置し、ご意見・ご指導を仰ぎながら進める。

#### 4. スケジュール

	5～6月	7～9月	10～12月	1～3月
年度計画の検討	→			
ホームページ	(準備)	→ ●	(随時更新)	→
メールマガジン	(準備)	→ ●	(定期発行)	→
パンフレット			(作成) →	(配布) →
その他の取り組み		→	→	→
シンポジウム		(準備)	→	● (報告書作成)
委員会	(委員委嘱)	→ ①	②	③

#### 5. 各委員会での主な議事案

##### (1) 第1回(7月)

- ① E S T の普及推進活動の状況
- ② 事業の趣旨と平成18年度計画案
- ③ E S T 関連ホームページ・メールマガジン案

##### (2) 第2回(9月)

- ① ホームページ、メールマガジンの経過報告と今後の課題検討
- ② シンポジウム案
- ③ パンフレット案
- ④ 普及推進に向けた検討事項

##### (3) 第3回(2月)

- ① シンポジウム報告書案
- ② 19年度事業案
- ③ 普及推進に向けた検討事項